

平成29年度 大学院人文科学府修士課程第1期入学試験問題  
(倫理学)

(一) 次の文章を読み、問1～3に解答しなさい。

著作権保護のため、このWeb公開版では問題文を削除した。引用箇所は以下の通りである。  
丸山眞男「思想史の考え方について——類型・範囲・対象」、『丸山眞男集』第9巻（岩波書店、  
1996年）所収、61-64頁

著作権保護のため、この Web 公開版では問題文を削除した。引用箇所は以下の通りである。  
丸山眞男「思想史の考え方について——類型・範囲・対象」、『丸山眞男集』第9巻（岩波書店、1996年）所収、61-64頁

- 問1 下線部Cに関して、挙げられた二つの「人間の本性」をそれぞれ説明した上で、両者がいかなる意味で「正反対」なのか、説明せよ。(400字以内)
- 問2 下線部AないしBに該当するような具体例を一つ挙げ（日本以外での事例でも可）、それについて説明せよ。(400字以内)
- 問3 本文で述べられているような思想史的なアプローチは、倫理学研究にどのように活かし得るか。具体例も挙げながら、自分の考えを述べよ。(1200字以内)

(二) 以下の7項目から5つを選び、それぞれについて倫理学・思想史の分野でどのような議論がなされているか、簡潔に説明せよ。(各400字以内)

決定論と自由意志

行為功利主義と規則功利主義

正義の倫理とケアの倫理

動物倫理

権力と権威

ナショナリズム

荻生徂徠